

# お知らせ



## その他のお知らせ トピックス

### 本郷財産区議会議員 一般選挙の結果

立候補者数が定数を超えなかったため、投票は行いませんでした。  
 当選人(定数12)※届出順  
 岩村 好治 正木 睦浩  
 日野 勝利 西本 利信  
 八重尾 次男 立川 輝明  
 津田 義則 佐々木 隆久  
 殿重 盛壯 津田 泰成  
 鉄井 彰悟 津田 琢也  
 問 選挙管理委員会事務局  
 ☎お太助フォン42-1136  
 ☎42-1375

### 屋外広告物の安全を点検してください

市内には立看板や広告塔、建物の壁面を利用して表示されたさまざまな屋外広告物が設置されています。形態や取付方法、設置した時期で状況は異なりますが、近年、老朽化した屋外広告物が落下するなど、全国的に事故が多発しています。屋外広告物を設置している方は、落下などの事故を防ぐため定期的に点検し、安全に管理してください。

問 管理課 建設管理係  
 ☎お太助フォン47-1201  
 ☎47-1206

### 自衛官募集 ~平和を仕事にする~ 問 自衛隊可部募集案内所 ☎082-815-3980

募集項目	応募資格	受付期間	試験日
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の者	年間を通じて行っております	受付時にお知らせします
防衛大学校	一般	18歳以上21歳未満の者	7月1日～10月22日
防衛医科大学校	医学科	18歳以上21歳未満の者	7月1日～10月7日

※詳しい内容につきましてはホームページをご覧ください。自衛隊可部募集案内所にお問い合わせください。  
 ※本庁・各支所にパンフレットを置いてありますのでご利用ください。

広島地本 検索

時日時 問お問い合わせ先 所場所 予予約 備備考 料料金 申申込

**宝くじ助成金で備品を整備**  
 令和2年度コミュニティ助成事業(一般コミュニティ事業)を活用して、向原町の日之原太鼓が備品を整備されました。この事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源に社会貢献広報事業として実施し、コミュニティ活動に必要な設備や備品などに対して助成しています。

**整備内容**  
 演奏に使用する長胴太鼓、締太鼓、篠笛、太鼓の台



問 地方創生推進課 まちづくり支援係  
 ☎お太助フォン42-2124  
 ☎42-4376

**ハロウィンジャンボ宝くじ発売**  
 今年の「ハロウィンジャンボ宝くじ」は1等・前後賞合わせて5億円! 同時発売の「ハロウィンジャンボミニ」は1等1,000万円! この宝くじの収益金は明るく住みよいまちづくりに使われます。



**発売期間**  
 9月23日(水)～10月20日(火)  
**料**300円/1枚  
**問**(公財)広島県市町村振興協会  
 ☎082-223-6545  
 ☎082-211-1882

## 八千代の丘美術館 イベント・企画展情報



### TOKUBETU企画展 三原捷宏展 -海との対話-

9月5日(土)～11月30日(月)

海との対話を通しての、新しい出会いの緊張と喜び、そして自然からの教養を表現した広島市立大学名誉教授の三原 捷宏さんの作品展です。

### フー・ク・シ・ヨ・ッ・ブ 秋の土師ダム湖畔写生会

11月8日(日) 小・中学生 10時～12時 要予約  
 ※雨天の場合は翌週15日(日)に順延  
 一般 10時～15時

[講師] 三原 捷宏 [対象] 小・中学生、一般(現地解散) [定員] 各10人  
 [持参物] 水彩・油絵用具、その他(いずれも可)飲み物、弁当など  
 [参加費] 無料 [集合場所] 土師ダムのどごえ公園駐車場

☎お太助フォン 52-3050 [開館時間] 10時～17時(入館は16時30分まで)  
 [休館日] 毎週火曜日(祝日の場合翌日) [入館料] 一般300円・65歳以上200円・小中学生200円・障害者手帳をお持ちの方(介助者1名を含む) 無料

## 和高節二「浄心」



和高 節二

和高節二没後30年  
 今年が没後30年に当たる日本画家、和高節二(1898-1990)の作品「浄心」は、92歳で生涯を終えた節二の画家人生の中でも特に意義深い作品です。  
 名声を獲得した後、体調が悪化した節二が闘病生活の中で改めて自己の人生と向き合うことで描かれた「浄心」。今回はこの作品を、節二の生涯を追いながら紹介します。

### 母と仏教

長田村(現在の向原町長田)に生まれた節二は、寺の門徒として信心深い母に育てられました。1913年、向原小学校高等科を卒業後、画家の道を夢見ますが、母は僧侶になるよう切望し反対します。結局、節二は菓子職人に弟子入りするも数日で挫折。続いて表具師になりますが身が入りません。農業の手伝いもほとんどせず、絵の自学自習に熱中しました。

### 中央画壇への挑戦

1918年、陽チフスで姉・母・妹を亡くした節二は家出を決意し翌年上京します。父親が嫁を決めたため1か月でふるさとに戻りましたが、その後も度々上京し絵画を学びました。1925年からは田舎に腰を据え、農業の傍ら農婦や牛等を題材に絵を描き、中央画壇への出品を続けました。そして、

### 作品に込められたもの

一躍時の人となった節二ですが、戦中から戦後にかけて体調が悪化し闘病生活に入ります。そのような中で取り組んだ作品が、遍路の女性を題材にした「浄心」でした。病中の節二は自分の行くべき道を探るようになり、遍路の習作を繰り返しました。節二の次男で美学美術史研究者の和高伸二は、「浄心」が節二の生涯における「心の記念」であったと記述しています。また生きた線が淡泊な美の世界を構成している点に着目し、節二の芸術生涯という観点からみても意義深い作品であると評されています(和高伸二「野に生きる」)。されどその名は「画家」の。その後の節二は自宅を「浄土」に見立てて芸術活動を続けました。「浄心」は何作品も描かれており、歴史民俗博物館所蔵の「浄心」は落款(作者の署名や押印)のない習作の一つで、親交のあった方へ個人的に贈ったものです。肩の羽織を薄緑で描き試作したものだと思われます。博物館では、没後30年を記念して今秋に小企画展を開催。「浄心」も展示予定ですので、ぜひお越しください。



「浄心」(1942年頃)  
 絹本彩色/145.0×55.5cm  
 歴史民俗博物館蔵



シリーズ  
 「博物館コレクション」第14回

安芸高田市歴史民俗博物館  
 学芸員 津久井 薫